

## 社会で求められる総合的な英語能力に関する調査結果について

### 1. 背景・趣旨

「大学入試のあり方に関する検討会議 提言」（令和3年7月）を踏まえ、大学における総合的な英語教育の充実に資するため、各民間企業が就職時、異動・昇進時、海外赴任時に求める英語力の基準の実態や、英語力の不足に関する課題認識、また各大学において、交換留学等に学生を派遣する際の基準となる英語力の水準等について、総合的な調査を実施。

### 2. 調査内容

#### <企業調査>

英語力を持つ人材の重要性、採用活動時における英語力の基準、異動・昇進・海外赴任時等における英語力の基準、大学・大学生への期待（英語力の水準、期待する取組、資質・能力等） など

#### <大学調査>

留学時に求める英語力、留学を推進する上での語学力に関する課題、3つのポリシーにおける英語能力の位置付け など

### 3. 調査対象、方法等

- ・ 文部科学省からの委託を受け民間企業が調査を実施
- ・ 調査対象：国内の全上場企業 3,856 社（2021年12月1日時点）  
地域未来牽引企業 4,739 社（2021年12月1日時点）  
国公立大学 768 大学（短期大学及び大学院大学を除く。）
- ・ 実施時期：令和4年1月～2月
- ・ 回答率：企業全体 7.2%（全 8,595 社中 617 社）  

{	上場企業 10.3%（全 3,856 社中 398 社）	}
	地域未来牽引企業 4.1%（全 4,739 社中 196 社回答）	
	大学 94.8%（全 768 校中 728 校）	

### 4. 主な調査結果

#### <企業調査>

##### （1）英語力を持つ人材の重要性

- 社員の英語によるコミュニケーション能力の強化は、企業価値を増大させる上で望ましいと回答した企業…80.6%

- (どちらともいえない/わからない 12.6%、 そう思わない 6.8%)
  - 英語能力を有する人材の不足が成長課題と回答した企業…45.6%
    - ➡ 課題として、海外企業との取引、海外支店や現地法人等で活躍する人材の不足、通訳・翻訳等によるコスト、タイムラグや誤解等を挙げる企業が多い。
    - (どちらともいえない/わからない 26.0%、 そう思わない 28.4%)
    - ➡ 国内市場がベース、海外売上高がない・少ない、を理由とする企業が多い
  - 英語能力を持つ人材の重要性が 10年後に高まっていると回答した企業…76.7%
    - (どちらともいえない/わからない 14.7%、 そう思わない 8.6%)
- ※ 上記回答について、「海外市場中心」のマーケット拡大方針をとる企業は、総じて「国内中心」又は「未定」の企業と比較して、英語能力を有する人材をより重要と考える傾向が示された

## (2) 英語基準及び将来的な期待値

- 学部・大学院卒等の採用活動において「英語力の提示を求めている」と回答した企業…29.2%
  - ➡ このうち必要条件 7.2%、加対象 33.3%、参考にする 59.4%
  - (提示を求めていない 62.4%、今後検討 8.4%)
  - ➡ 求めていない理由として、特定の採用枠で求めている、入社後の研修等で伸ばせる、大卒人材の英語力が低く現実的でない、を挙げる企業が多い
- 英語の基準スコアは、TOEIC で 700 点以上 (28.7%) が最多。
  - (600 点以上 23.6%、500 点以上 16.6%)
 英検では 2 級以上 (30.6%) が最多
  - (1 級以上 2.7%、準 1 級以上 15.5%、準 2 級以上 12.4%)
- 昇格や異動、海外赴任等に英語力を設定している企業…13.8%

## (3) 企業における外国語使用の現状

- 英語を公用語としている企業…5% (していない・予定ない…77.6%、日本語を母語としない社員がいない/ほとんどいない…17.0%)
- 海外取引先等の間で英語を用いた WEB 会議が増え、参加人数も増えていると回答した企業…49.4%
- 社内での英語使用割合は増える見込みと回答した企業…56.8%
  - (変わらない 27.7%、減る 0.2%、わからない 15.4%)

## (4) グローバル採用等の導入状況

- グローバルなビジネス展開の強化のため、新卒・中途問わず積極的な人材育成をしていると回答した企業…48.4%
  - ➡ 取組として、日本本社での国籍を問わない採用 70.8%、日本人と外国籍を同一基準で選抜 58.8%、海外勤務等を前提とした日本人採用 44.4%、現地法人での国籍を問わない採用 41.2% など

## (5) 大学・大学生への期待

### ○ 学生の出身大学に期待する英語力の水準

TOEIC	割合	英検	割合
500 点以上	14.1%	3 級以上	7.6%
600 点以上	24.0%	準 2 級以上	9.4%
700 点以上	25.7%	2 級以上	28.5%
わからない	36.2%	準 1 級以上	11.2%
		1 級以上	2.3%
		わからない	41.1%

※ マーケット拡大方針が「海外市場中心」企業の 42%が TOEIC700 点以上と回答しており、「国内中心」企業の 17.2%と比較して顕著に高い

- 各大学の英語力向上に関する取組が十分だと回答した企業…10.7%  
 (どちらともいえない/わからない 65.5%、そう思わない 23.8%)

### ○ 学生に伸ばしてほしい資質・能力等

		<span style="color: blue;">■</span> 伸ばしてほしい <span style="color: red;">■</span> どちらかという伸ばしてほしい <span style="color: yellow;">■</span> 特に必要ない <span style="color: green;">■</span> わからない			
異文化コミュニケーションへの積極性	(615)	38.4	43.1	9.9	8.6
言語や文化のダイバーシティ(多様性)への寛容さ	(615)	42.6	38.9	9.6	8.9
自分の専門分野を英語で理解・説明できる能力	(616)	29.9	45.8	15.4	8.9
日本のことや日本の文化・考え方を英語で説明できる能力	(616)	21.4	46.1	21.9	10.6
グローバルに物事を考える視野の広さ	(616)	49.5	36.4	6.3	7.8
普段から英語で情報収集・分析する能力・習慣	(616)	24.8	45.6	17.7	11.9

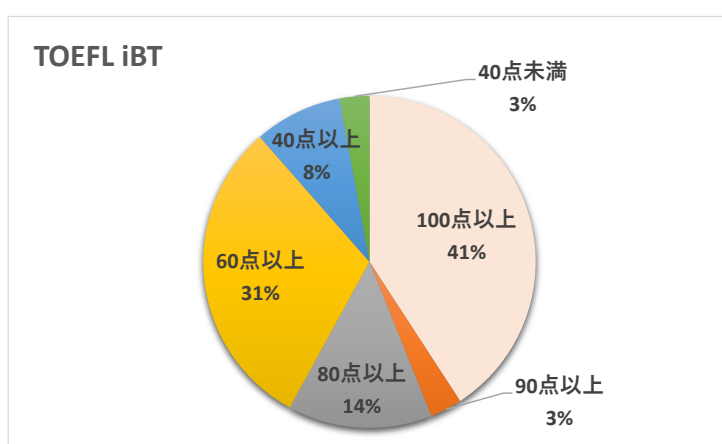
### ○ 大学に期待する取組

		<span style="color: blue;">■</span> 期待する <span style="color: red;">■</span> どちらかという期待する <span style="color: yellow;">■</span> 期待しない <span style="color: green;">■</span> わからない			
英語力に関する一定の到達水準の明示	(615)	18.2	49.1	17.7	15.0
英語力に関する一定の到達度の卒業要件化	(615)	9.4	37.6	34.6	18.4
専門分野と英語教育を融合させた教育	(615)	16.1	47.8	18.9	17.2
日本や日本の文化を語れる英語力の育成	(616)	10.4	43.8	24.2	21.6
海外留学の奨励(短期間の語学留学)	(615)	12.8	40.0	25.5	21.6
海外留学の奨励(1年以上、単位取得を伴う)	(615)	13.3	39.5	24.1	23.1
第2外国語の習得	(614)	9.8	38.4	32.1	19.7
日本人学生と留学生との交流の促進	(616)	19.2	45.5	18.0	17.4
キャンパスの多国籍化(教員、学生)	(616)	15.4	40.4	22.1	22.1

## <大学調査>

### (1) 英語圏を対象とした留学プログラムについて

- 回答のあった 728 大学のうち、513 大学が派遣先国の公用語を英語とする留学プログラムについて回答（計 3,280 プログラム）
- このうち、一定の英語力を求めるプログラムについて回答した大学は 359 校（49.3%）、1,825 プログラム
  - ※ 各大学、20 を上限として代表的な留学プログラムを抽出・回答しており、大学の留学プログラムを網羅的に把握したものではないことに留意
- 英語力の基準として、100 点以上（95 点以上が英検 1 級に相当）とするプログラムが最多（41%）



- 一定水準の英語力を求める 1,825 プログラムの特徴
  - ・ 自大学における単位認定…56.7%
  - ・ 派遣先大学との学費相互不徴収…56.0%
  - ・ 派遣先大学における単位取得…55.7%
  - ・ 大学間協定に基づく派遣…55.5%
  - ・ 奨学金支給あり…53.8%

### (2) 留学プログラムを推進する上での語学力に関する課題

課 題	割合
留学プログラム募集枠に対して、語学スコア不足で派遣枠が埋まらない	24.9%
留学派遣に必要な語学スコアが低学年で達しないこと	22.4%
海外の派遣先大学との交渉において、語学スコアの設定において折り合いがつかない場合ある	12.6%
留学に必要な英語資格（TOEFL 等）を伸ばすことに特化した教育プログラムが提供できていない（または少ない）	33.7%
大学入学前（高校に在学している時）に、海外留学するために一定の英語力が必要であることを理解していない	16.5%
その他	31.1%

### (3) 3つのポリシーにおける英語能力の評価について

- 少なくとも1つ以上の学部又は学科の3つのポリシーにおいて、英語能力の評価に関する記載がある大学は、以下①～③の通り。

#### ① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

	全体	国立大学	公立大学	私立大学
記載有の校数	333	62	32	239
記載有の割合	46.2%	72.1%	42.7%	42.7%

#### ② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

	全体	国立大学	公立大学	私立大学
記載有の校数	336	60	33	243
記載有の割合	46.6%	69.8%	44.0%	43.4%

#### ③ 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

	全体	国立大学	公立大学	私立大学
記載有の校数	278	57	28	193
記載有の割合	38.6%	66.3%	37.3%	34.5%